

図書館へいこう!

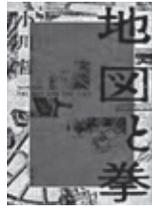
第168回 (2022下半年) 直木賞芥川賞受賞作

直木賞受賞

『地図と拳』

小川 哲 / 著

ひとつの都市が現われ、そして消えた。日露戦争前夜から第2次大戦までの半世紀、満洲の名もない都市で知略と殺戮が繰り広げられ…。日本SF界の新星が放つ歴史×空想巨編。



『しろがねの葉』

千早 茜 / 著

戦国末期、採掘最盛期を迎える石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き…。渦巻く欲望と死に抗って生きる女の生涯を描く。



芥川賞受賞

『この世の喜びよ』

井戸川 射子 / 著

幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く“あなた”は、フードコートで常連の少女と知り合い…。



『荒地の家族』

佐藤 厚志 / 著

元の生活に戻りたいと人が言う時の「元」とはいつの時点か。あの災厄から十年余り。生活も仕事道具も攫われ、妻を喪った男は、その地を彷徨い続けた。



話題の新着本

『よき時を思う』 宮本 輝 / 著

90歳の記念に祖母が計画した、家族のための豪華絢爛な晩餐会。そこに秘められた16歳の日の出会いと別れの記憶…。孫の綾乃は祖母の生涯を辿り、語られずにきた苦難と情熱を知る。



『銀座に住むのはまだ早い』

小野寺史宜 / 著

東京23区に住んでみたい。と、昔から思ってきた。家賃5万円弱のワンルームなら、どこに住めるだろうか? 実際に探して歩いてみた。書き下ろし短編小説も掲載。



『答えは市役所3階に』

辻堂 ゆめ / 著

市役所に開設された「2020こころの相談室」に持ち込まれるのは、切実な悩みと気づいてもらいたい想い、そして、知られたくない秘密で…。ストレスフルな現代に贈る、あたたかなミステリー。



『数学の女王』 伏尾 美紀 / 著

博士号を持つ異色のノンキャリア警察官・沢村依理子は、道警本部の警務部に異動となる。そんな中、新札幌に新設されたばかりの北日本科学大学で爆破事件が発生する。



『たらしの城』 佐々木 功 / 著

織田信長の美濃攻めが始まる。墨俣に一夜にして城をつくり、敵はあるか信長の度肝を抜いた藤吉郎の奇想天外な策略の数々とは? 史上まれにみる出世街道を突き進んだ戦国武将・豊臣秀吉の魅力あふれる物語。



今月のBEST本

(1月の貸出回数上位本)

『ゴールデンカムイ』 野田 サトル / 著

明治末期の北海道・樺太を舞台にした、金塊をめぐるサバイバルバトル漫画。アイヌ文化を丁寧に描いているところも人気となっています。昨年完結し、図書館では全31巻揃えています。

